

羽田沖でサクラマスの漁獲報告

令和5年4月2日に芝漁業協同組合の平井さんからサクラマス漁獲報告がありました。ご本人に伺ったところ、当日早朝、クロダイの刺網漁をしていたところ漁獲されたとのこと、漁獲場所は羽田空港と城南島の間ということでした。下の図にあるように銀色をした美しい魚体で、大きさは全長 43.2cm、尾叉長 41.6cm、体重 1,209g で、生殖腺は未成熟でした。

当協会ではこれまでに東京湾や荒川、多摩川で漁獲されたサクラマスを 96 例測定するなどして、東京湾のサクラマスの生活様式の解明に向け知見を積み重ねてきました。今回の個体をこれまでの記録と比べてみると、全長、体重ともほぼ平均的な大きさで、昨年 12 月から今年の 1 月にかけて東京湾に降海し、3~4 カ月間の海洋生活を終えて産卵のために河川を遡上する前段階の個体で、漁獲場所から考えて多摩川へ遡上するサクラマスではないかと思われます。

これまで遡上前のサクラマスの胃に餌生物が入っていた例がなく、どんな餌生物を食べているのか不明でしたが、今回のサクラマスの胃には消化途中のカタクチイワシが入っており、この時期にサクラマスがカタクチイワシを食べることが明らかとなりました。遡上の盛期は 5 月で、4 月初めのこの時期にはまだ餌を盛んに食べるものと思われます。

東京湾では 1950 年代後半から姿を消したサクラマスですが、東京湾および流入河川の環境改善とともに、サクラマスの漁獲報告も増えてきています。協会では、東京湾の復活の象徴ともいえるサクラマスの調査・情報収集を引き続き行っていきますので、漁獲情報等あればご連絡ください。



採捕されたサクラマス

胃内容物